

しなののうた

車窓より連なり霞む比叡山巡りきたれる夫五十回忌



杉田小百合

しなののうた

流れ落つ清水寺の名水をボトルに汲みて亡夫への土産

杉田小百合



しなののうた

見上げたる清水寺の石段を膨らみ始む桜（はな）が背を押す



杉田小百合

しなののうた

細石踏み廻れる京都御所芽吹きはじめ風爽やかに

杉田小百合



しなののうた

庭園の枯山水に導かれ居るだけで足る無我に浸れり



杉田小百合